

アカギカメムシ

伴野正志・遠藤若葉



アカギカメムシ 淡色型



交尾



アカメガシワの実を吸う成虫



白色型（幼虫を保護）



幼虫集団

アカギカメムシはカメムシ目キンカメムシ科の大形で美しい種です。主に沖縄に生息しています。近年分布を拡大中で、北海道でも記録されています。静岡県では、2014年に静岡市と浜松市で観察採集されたのが初めての記録で、その後県内各地で記録されています。

筆者らは静岡市の麻機遊水地での鳥類と昆虫の生息調査で、アカギカメムシを2016年以降毎年記録しています。

- 2016年：10月7日～11月11日（最多40+）
- 2017年：8月29日～11月24日（最多成虫100+・幼虫200+）
- 2018年：10月14日（雄1雌1・栗山由佳子氏採集）
- 2019年：8月21日～10月5日（最多成虫37・幼虫50+）
- 2020年：8月22日～11月27日（最多成虫61・幼虫30+）

以上の様に、8月下旬～11月下旬に観察されています。アカメガシワ（トウダイグサ科）の実に集団でつきます。成虫は鮮やかなオレンジ色から白色まであります。静岡県では白色型は極稀で殆どがオレンジ色です。肩の棘があるタイプとないタイプがあり、麻機の個体は棘のあるタイプの方が多く見られました。また、2017年に白色型が1頭だけ見られました。

麻機は治水のための遊水地が5工区ありますがアカギカメムシは4工区を除き幅広く分布しています。また、麻機遊水地以外でも静岡市内で観察されています。静岡市内の賤機山、水見色の高山市民の森、安倍川河口、ふじのくに地球環境史ミュージアムでも記録されています。

静岡市内では分布拡大し定着していると思われます。ただ、本種は成虫越冬しますが冬期の記録はありません。

最後に、2018年の採集記録を提供して下さった栗山由佳子氏に感謝申し上げます。